Aprica

アップリカのチャイルド&ジュニアシート

ユーロジュニア

取扱説明書

体重9kg以上36kg以下のお子さま用です。
自動車の進行方向に対して前向きの3点式シートベルト装着の座席のみ使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
また、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

ECE（欧州安全基準）R44.04認可
汎用型グループI〜Ⅲ、9kg以上36kg未満。
座部横に貼られてある認証番号シールは、はがさないでください。

07-03

07YJ-00

もくじ

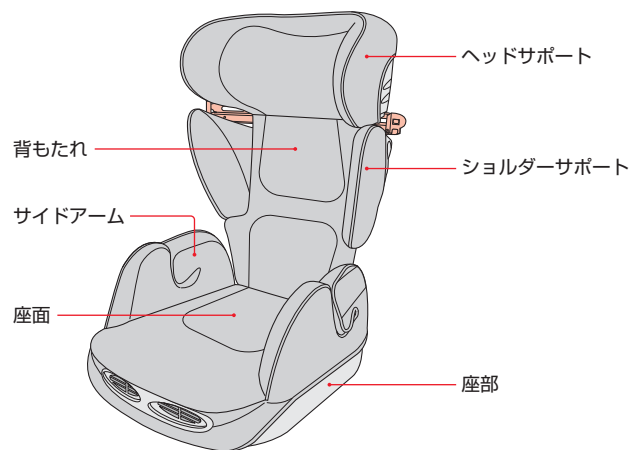
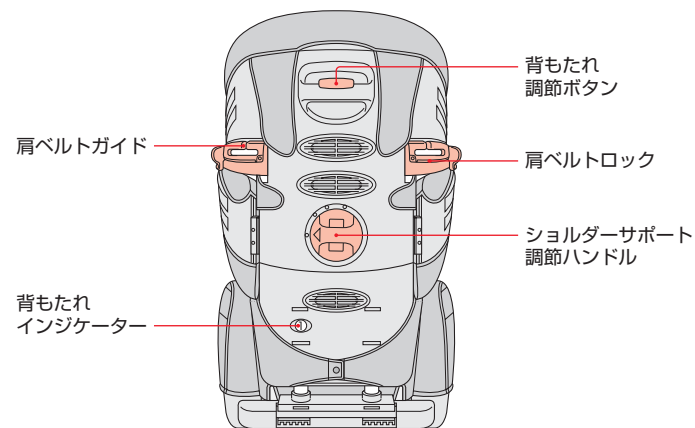
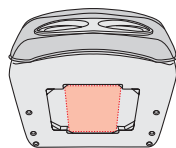
ご使用前に

ご使用前の確認

・製品を箱から取り出した後に、部品が揃っているか、破損などがないかを確認してください。
・欠品や破損など、ご確認された場合は使用を中止し、お買い上げの販売店または当社サービス係までご連絡ください。
・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かり易くするため、現物とは若干異なる場合があります。

⚠警告

フロントエアバッグが装備された座席に取り付けないでください。
・ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・製品を改造しないでください。また、取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
・本書をお読みになった後は、必ずチャイルドシートの座部裏面に本書を保管してください。

各部の名称

チャイルドシートについて

・チャイルドシートは、お子さまの安全を守るための機能を備えております。これらの機能は自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減します。ただし、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
・本品は日本国内においてのみ、ご使用いただけます。

保護者の方へのアドバイス

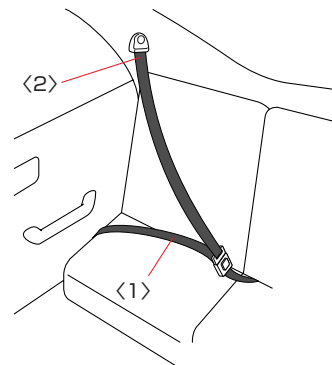
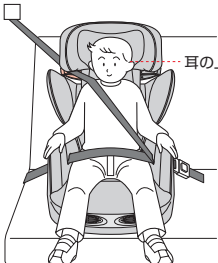
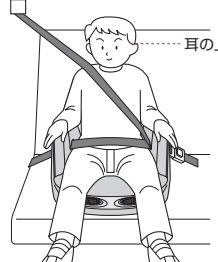
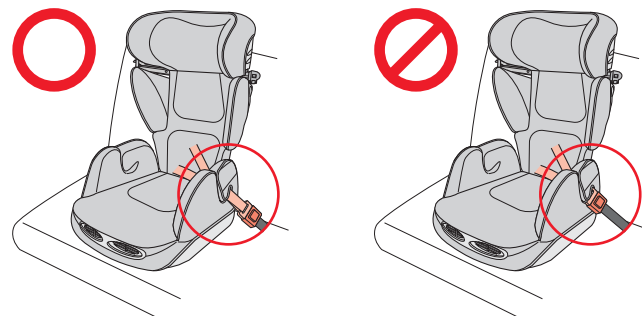
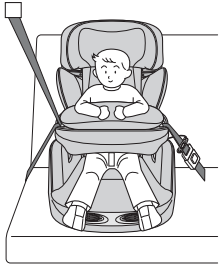
・お子さまを車に乗せる時は、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
・長時間のドライブでは、定期的に休憩を取って、お子さまの気分転換をはかってください。

本書の表示について

・「危険」、「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表　示	表示の内容
⚠ 危 険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠ 警 告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠ 注 意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。
⃠ 禁 止	製品の取扱いの禁止の行為です。絶対してはいけません。

使用するシートベルトタイプ

・チャイルドシートは、助手席または後部座席に、３点式シートベルトの腰〈1〉および肩〈2〉部分を使用して、必ず前向きに取り付けること。
・ ECE 規則 No.16 または他同等の基準に基づいて認可された自動車３点式／リトラクター付きシートベルトを装備した記載車種に限り使用できます。

シートベルトバックルの正しい位置

・シートベルトバックルの位置は、チャイルドシートの安定性に影響を及ぼす可能性があります。シートベルトバックルの位置によっては、事故時にお子さまを保護するためのチャイルドシートの効果を損なうおそれがあります。
・下図のようにバックルがシートをまたぐ場合は、本製品はそのシートベルト及び車両ではご使用になれません。ご不明な方は、当社サービス係までお問い合わせください。

使用条件

・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。
　この条件を満たさないお子さまには事故時の傷害を軽減する効果がありません。

・お子さまの成長に合わせて、４通りの使い方があります。

グループⅠ	体　重…9kg以上18kg以下
	・参考身長…75cm以上100cm以下 ・腰が安定し、一人座りができること。
グループⅡ	**体　重…15kg以上25kg以下**
耳の上端部	・参考身長…95cm以上120cm以下 ・腰が安定し、一人座りができること。 ・チャイルドシートに座った時、車のシートベルトのタングが、バックルに差し込めること。 ・チャイルドシートに座った時、頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。
グループⅡ・Ⅲ	**体　重…15kg以上36kg以下**
耳の上端部	・参考身長…100cm以上145cm以下 ・腰が安定し、一人座りができること。 ・チャイルドシートに座った時、車のシートベルトのタングが、バックルに差し込めること。 ・チャイルドシートに座った時、頭部重心位置（耳の上端部）が車のシートの上端部、又はヘッドレストの上端部より下になること。

〈別売りのインパクトシールド使用の場合〉

グループⅠ	体　重…9kg以上18kg以下
	・参考身長…75cm以上100cm以下 ・腰が安定し、一人座りができること。

ご使用上の注意

・ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず遵守してください。

⚠危険

・誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・いかなる場合にも、フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けないでください。
・肩シートベルトを背もたれの肩ベルトロックに通さないで使用しない。
・肩シートベルトを背もたれのベルトガイドに通さないで使用しない。
・肩ベルトガイドがお子さまの肩よりも低い位置及び、3cm 以上高い位置で使用しない。
・本製品の乗員保護効果を最大限に高めるために、本書の記述に従って本製品を車のシートベルトで正しく取り付け、しっかりとシートに固定してください。
・本製品がドアやダッシュボード、コンソールなどに接触していないか確認してください。後席に取り付ける時は、前席シートの背面が本製品に接触しないようにしてください。可倒式リヤシートでは、シートが確実にロックされていることを確認してください。
・緊急時には、車のシートベルトのバックルを外し、お子さまを迅速に救助してください。
・使用条件に適合しないお子さまや、座席では使用しない。
・本製品を折りたたみ式シートに取り付けないでください。
・本製品を固定する車のシートベルトバックルを外したままにしないでください。
・本書に記載していない方法で本製品を固定したり、お子さまを乗せないでください。
・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態で使用しない。
・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。

⚠警告

・誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

・いかなる場合も、お子さまを残して車から離れないでください。
・肩ベルトは肩の中央を通し、腰ベルトは下腹部を避けて骨盤の上に着用してください。
・車のシートベルトに、ねじれや緩みがないことを確認してください。
・腰ベルトはできるだけ低い位置で、お子さまの骨盤の上に着用する。絶対にお腹に向けてベルトを締めない。
・肩シートベルトを、お子さまの首や腹部など身体の弱い部分に掛けて使用しない。
・背もたれのみで使用しない。
・二人以上で使用しない。
・緊急時の脱出の妨げになる座席には本製品を取り付けない。
・本製品の底面の一部分にクッションなどを敷かない。
・走行中にベルト調節などを行わない。
・背もたれを使用しない場合は、トランクなどに収納してください。
・本製品を直射日光にさらさない。
金属部品などが熱くなり、やけどのおそれがあります。

⚠注意

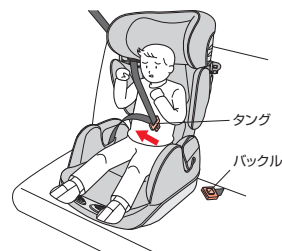
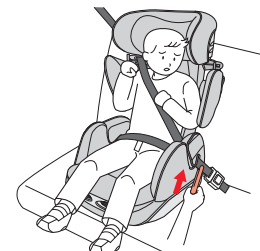
・誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

・直射日光にさらされると車内が非常に高温になります。直射日光が当たる場所で車から離れる時は、チャイルドシートにタオルなどをかけて、過熱しないように注意してください。直射日光にさらされると、製品の寿命が縮まったり、お子さまがやけどをする危険性があります。
・車内の荷物は確実に固定し、鋭利な部分がある荷物は載せないでください。急ブレーキや事故などの衝撃でお子さまがケガをするおそれがあります。
・本製品にお子さまを乗せていない時も、車のシートベルトで本製品をしっかりと固定してください。急ブレーキや事故などの衝撃で乗員がケガをするおそれがあります。
・本製品は、自動車用チャイルドシートとして使用することを前提に開発しています。取り外した状態で、お子さまのベッドや椅子として使用しないでください。
・お子さまを本製品に乗せたままでリクライニング操作などをしないでください。
・本製品を車の可動式シートやドアに挟まない。
・本製品がシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けずにシート保護マットなどを使用する。
・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
・小さなお子さまに本製品の取り付けや操作をさせない。
・本製品に重量物を載せない。

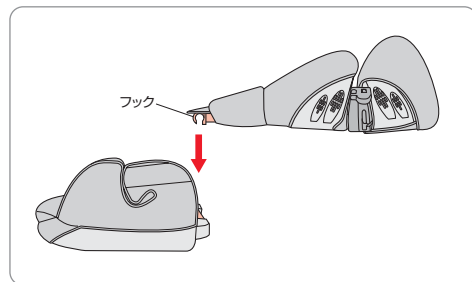
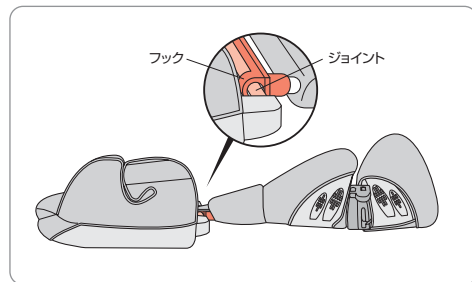
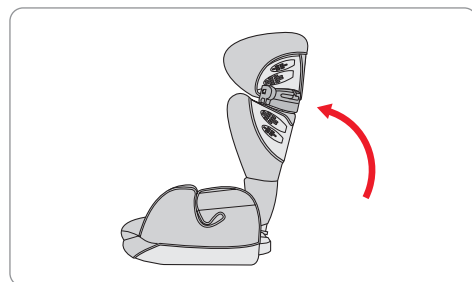
🚫禁止

・製品の取り扱いの禁止の行為です。絶対してはいけない内容です。

・本製品を分解、改造及び、部品交換をしないでください。
・事故や落下などによる強い衝撃を受けた後や、異常を発見した時は、本製品を使用しないでください。シートベルトに擦り傷や摩耗、亀裂などがないか定期的に点検してください。特にシートベルトの縫い目、タングの取り付け部、ベルト長さを調節する部分などは念入りに点検してください。
・本製品をシートカバーを取り外した状態で使用しない。
（当社が推奨するシートカバーのみ使用すること。）
・本製品のシートカバー内側には、衝撃吸収パッドが取り付けられています。これらのパッドは、絶対に取り外したり、他の物と交換したり破れたまま使用しないでください。
・本製品を保管する時は、直射日光や風雨にさらされず、高温多湿にならない冷暗所に保管してください。また、本製品の上に重い物を載せないでください。
・お子さまの遊び道具として使用させない。
・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
・取扱説明書及びチャイルドシートに記載されている以外の荷重保持接点を使用しない。
・本製品の取り付けや取り扱いに関する不明点がありましたら、当社サービス係またはお買い上げの販売店にご相談ください。

緊急時のお子さまの降ろし方

緊急の時はあわてずに…
❶車のシートベルトのバックルを外す。
❷お子さまをチャイルドシートから降ろす。
❸安全な場所へ避難する。

バックルからタングが抜けない時は…
●車のシートベルトをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。

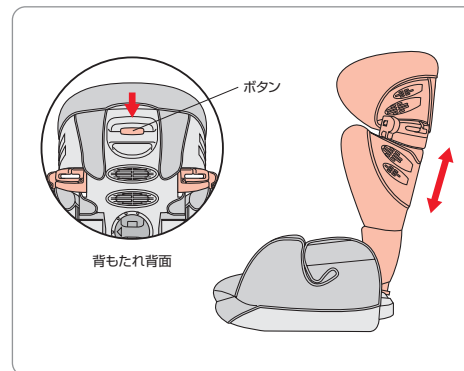
組み立て方法

背もたれの取り付け方

1 背もたれを水平に寝かせ、フックを座部のジョイントに合わせます。

2 背もたれのフックを座部のジョイントに掛けます。

3 背もたれを起こします。

⚠**注意**

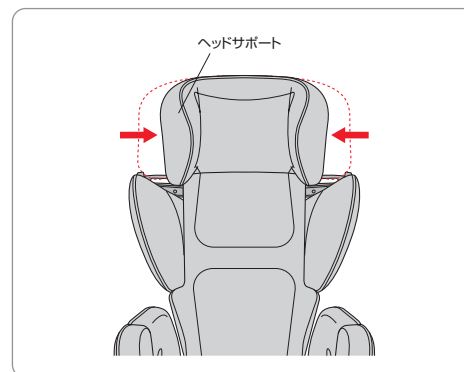
・組み立てる時に、指などを挟まないように注意してください。
・背もたれが確実に取り付けられていることを確認してください。
・組み立てたチャイルドシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないように注意してください。

各部の操作方法

背もたれの高さ調節

背もたれ調節ボタンを押した状態で背もたれを上下させボタンを戻します。

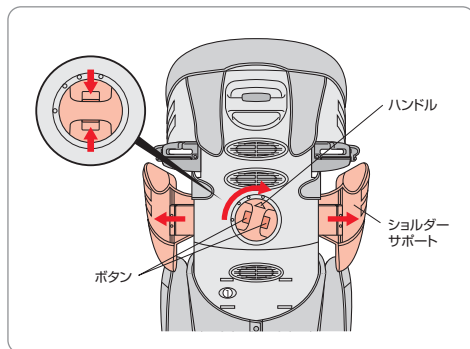
⚠**注意**

・背もたれを上下にゆすりロックされていることを確認してください。

ヘッドサポートの調節

ヘッドサポートを内側に倒します。

⚠**注意**

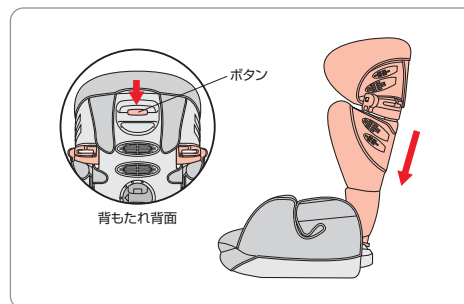
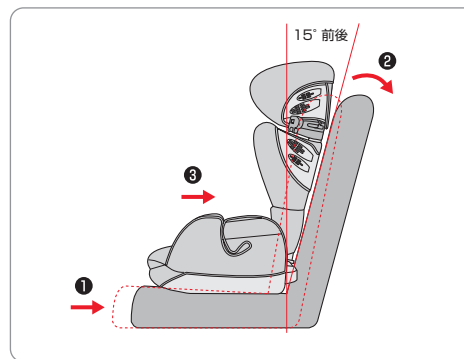
・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないように注意してください。
　手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。
・お子さまを乗せる前に背もたれが確実に取り付けられていることを確認してください。

ショルダーサポートの調節

ハンドルのボタンを押した状態で、ハンドルを回してショルダーサポートを調節し、ボタンを戻します。

⚠注意

・ボタンが戻りショルダーサポートがロックされていることを確認してください。

グループⅠ

体重：9kg以上18kg以下（参考身長：75cm以上100cm以下）

本体の取り付け方

1 背もたれ調節ボタンを押して、背もたれを一番低い位置に調節します。

2

❶車の座席が前後にスライドする場合は、一番後ろに下げます。

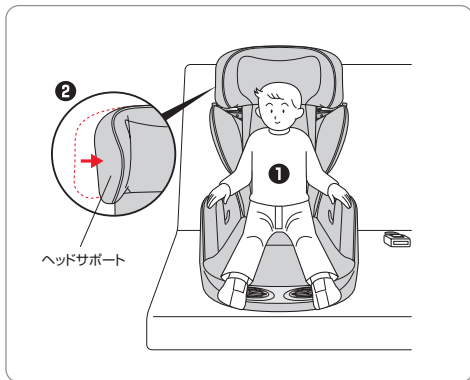
❷リクライニング付きの場合は15°前後倒します。

❸チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれのスキ間が出来るだけ小さくなるようにチャイルドシートを置きます。

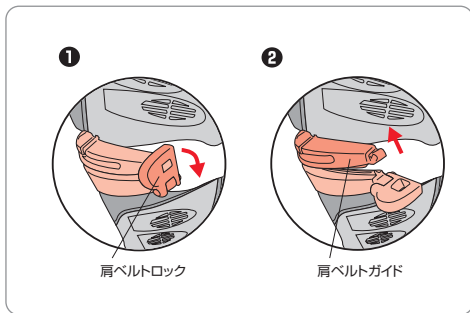
⚠警告

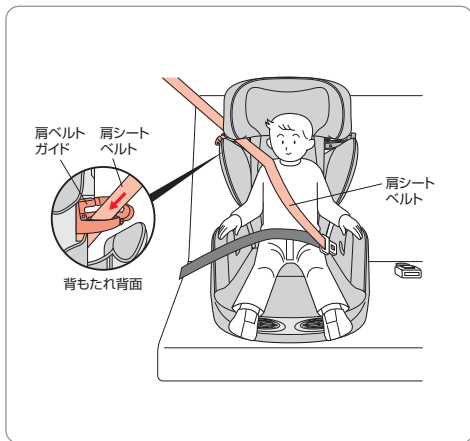
・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。

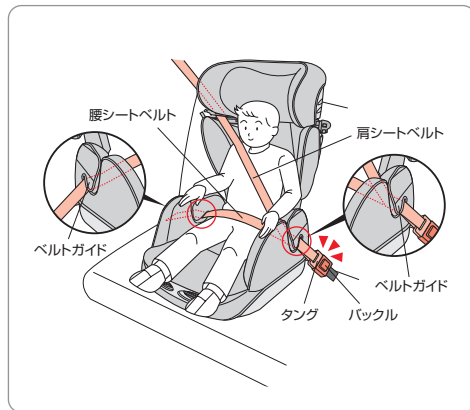
衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。

3

❶お子さまを座面に深く座らせます。

❷ヘッドサポートを内側に倒します。

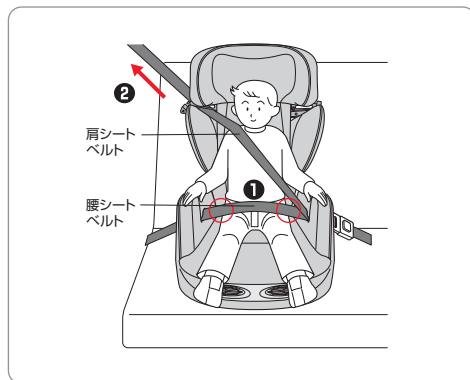
4

❶肩ベルトロックを解除します。

❷肩ベルトガイドを開きます。

5

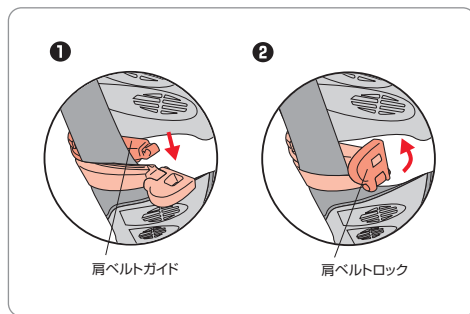
車の肩シートベルトにねじれがないことを確認して、開いた肩ベルトガイドに通します。

6

車の腰シートベルトにねじれがないことを確認して、座部の左右のベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込みます。

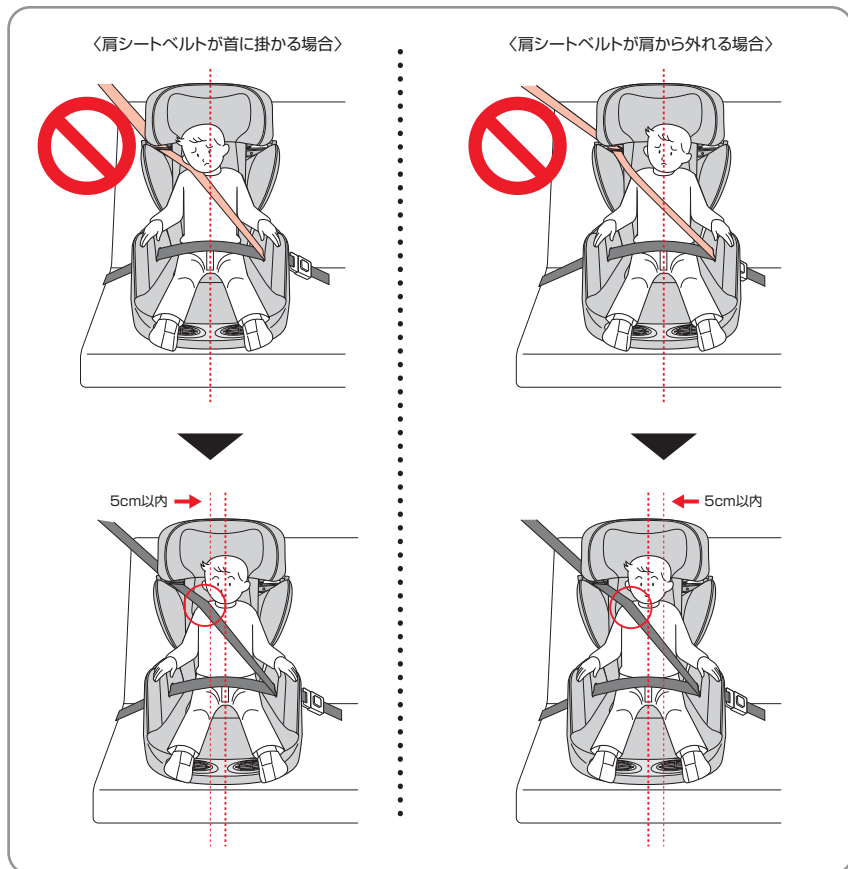
・肩シートベルトはバックル側のベルトガイドに通します。

7

❶車の腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げます。

❷余分な肩シートベルトを巻き取ります。

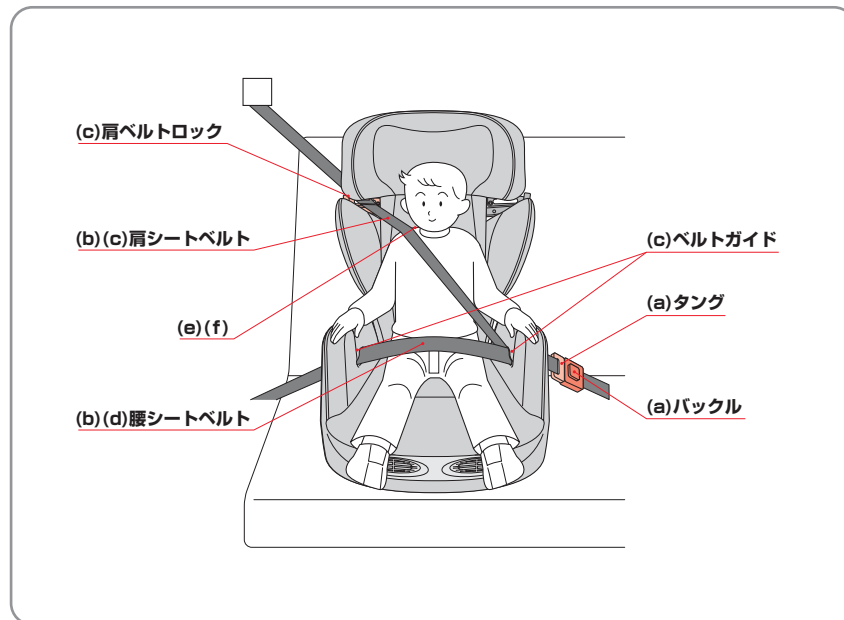
8

❶肩ベルトガイドを閉じます。

❷肩ベルトロックをかけます。

取り付け後の調節方法

・肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。チャイルドシートの座面が傾かない範囲で調節してください。
・チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れる時は、この座席では使用できません。

⚠危険

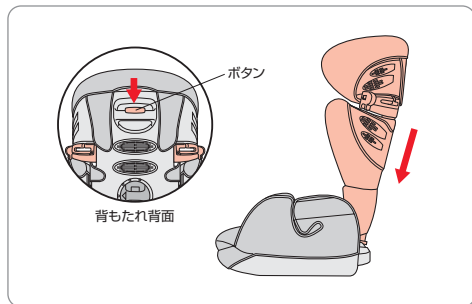
・チャイルドシートが取扱説明書通りに取り付けできない座席では使用しない。
・車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくい場合は、緩みのある状態で使用しない。
・肩シートベルトは、必ず肩ベルトガイドを通してから、お子さまの胸の前を通すこと。

取り付け後の確認

・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

☑チェック項目

(a)車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
(b)車の肩・腰シートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
(c)車の肩シートベルトが肩ベルトロックを通り、確実に固定されていること。
(d)車の腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。
(e)車の肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。
(f)車の肩シートベルトとお子さまの首の間に大人の指１～２本程度のスキ間があること。

・**(a)～(f)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度1～8の手順で取り付けをやり直してください。**
・**1～8**の手順でやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。（P37参照）

別売りのインパクトシールド使用時

体重：9kg以上18kg以下（参考身長：75cm以上100cm以下）

本体の取り付け方

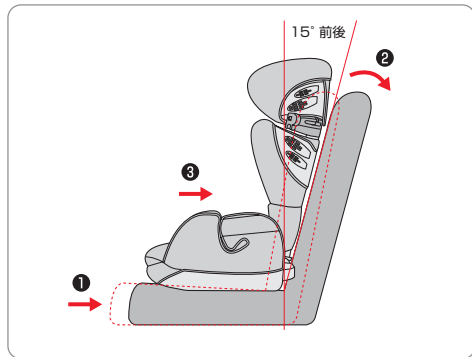
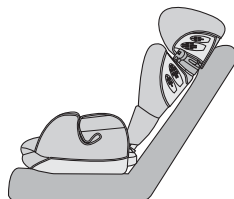
1 背もたれ調節ボタンを押して、背もたれを一番低い位置に調節します。

2

❶車の座席が前後にスライドする場合は、一番後ろに下げます。

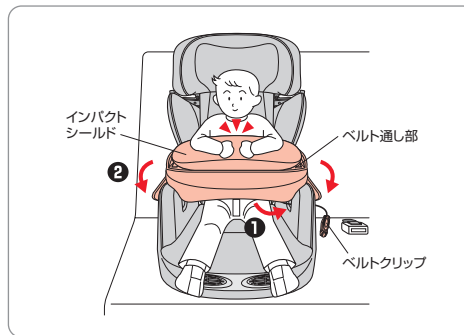
❷リクライニング付きの場合は15゜前後倒します。

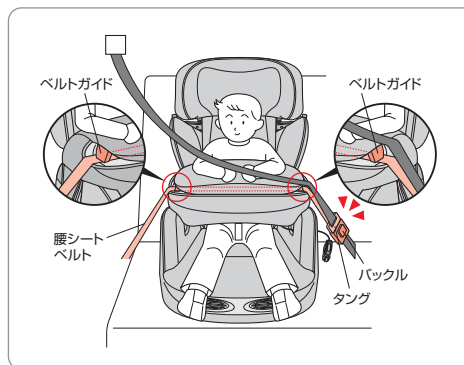
❸チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれのスキ間が出来るだけ小さくなるようにチャイルドシートを置きます。

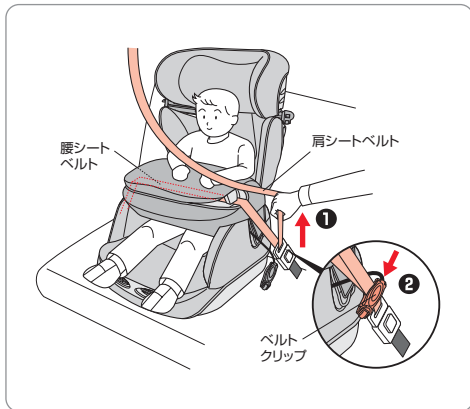
⚠警告

・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。

衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。

3 お子さまを座面に深く座らせます。

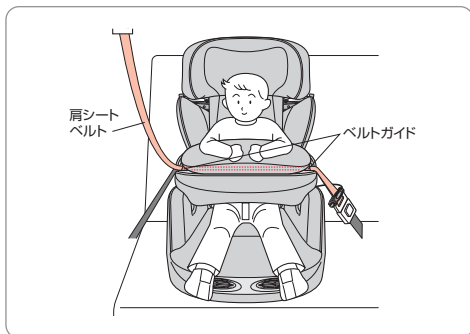
4

❶インパクトシールド底面のベルトクリップを外します。

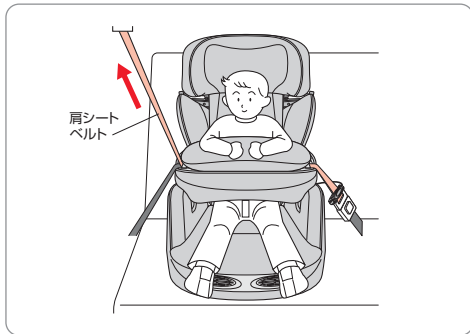
❷インパクトシールドのベルト通し部を前向きにして、お子さまの胸に接するように置き、左右の面ファスナーをとめます。

5 車の腰シートベルトにねじれがないことを確認して、インパクトシールドの両側のベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込みます。

6

❶車の肩シートベルトを引き上げ、腰シートベルトのたるみをとります。

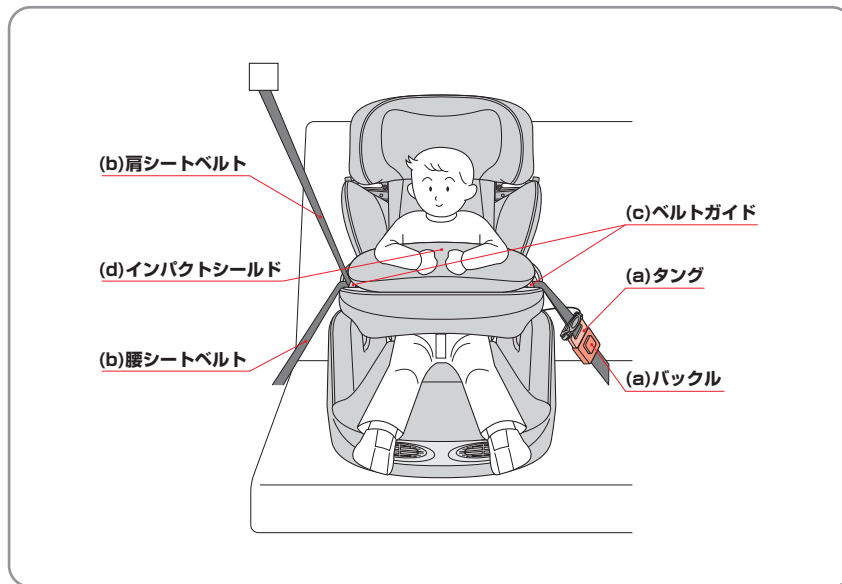
❷ベルトクリップで肩シートベルトと腰シートベルトを挟んでとめます。

⚠注意

・インパクトシールド使用時は背もたれの肩ベルトガイドは使用しない。

7

肩シートベルトをインパクトシールドの左右のベルトガイドに通します。

8

ベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取り、再度ベルトクリップを取り付けます。

取り付け後の確認

・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

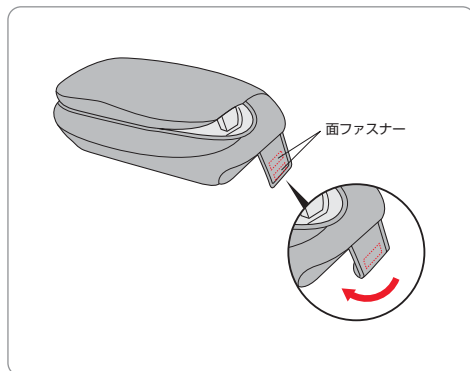
☑ **チェック項目**

(a)車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
(b)車の肩・腰シートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
(c)車のシートベルトが左右のベルトガイドを確実に通っていること。
(d)お子さまの胸とインパクトシールドが接していること。

・**(a)～(d)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度1～8の手順で取り付けをやり直してください。**
・**1～8**の手順でやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。(P37参照)

⚠注意

・チャイルドロック付きシートベルト（A-ELR）のうち比較的短い物の場合、取り付けが完了する前にチャイルドロック機構が働き、ベルトが巻き取られることにより取り付けが出来なくなる場合があります。
〈対処方法〉
・シートベルトを全て引き出し、シートベルトが巻き込まれないようにインパクトシールドに付属されているベルトクリップ又は、洗たくバサミなどで保持した後に取り付け作業を行ってください。

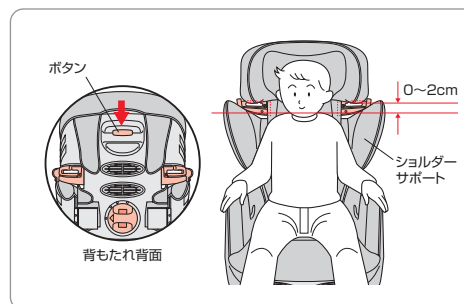
インパクトシールドの保管

インパクトシールドを使用しない時は、左右の面ファスナーを内側に折りたたんで保管します。

⚠注意

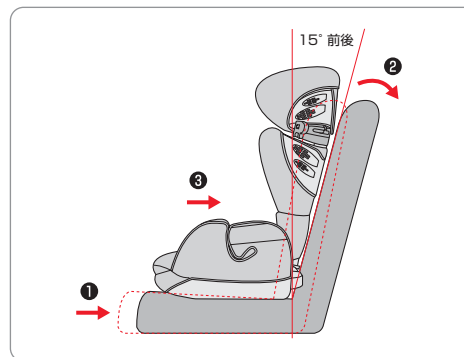
・面ファスナーをとめずにそのままにしておくと面ファスナーにより他の生地をキズつけるおそれがありますので注意してください。

グループⅡ

体重：15kg 以上 25kg 以下（参考身長：95cm 以上 120cm 以下）

本体の取り付け方

1

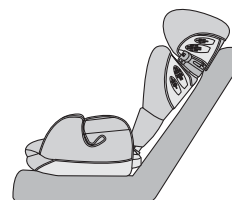
背もたれ調節ボタンを押して、肩ベルトガイドの高さをお子さまの肩から2cm以内に背もたれを調節します。

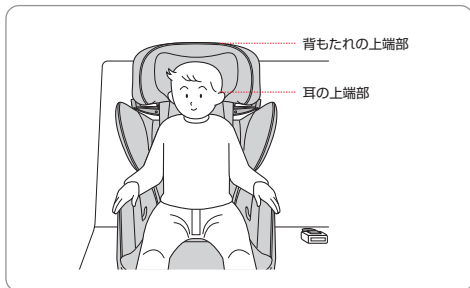
・お子さまの体格に合わせてショルダーサポートを調節してください。（P15参照）

2

❶車の座席が前後にスライドする場合は、一番後ろに下げます。

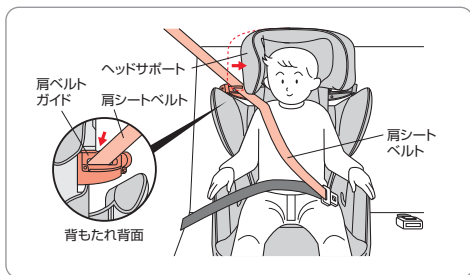
❷リクライニング付きの場合は15°前後倒します。

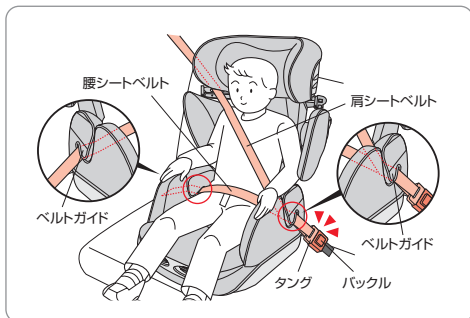
❸チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれのスキ間が出来るだけ小さくなるようにチャイルドシートを置きます。

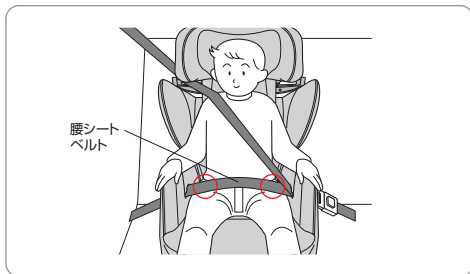
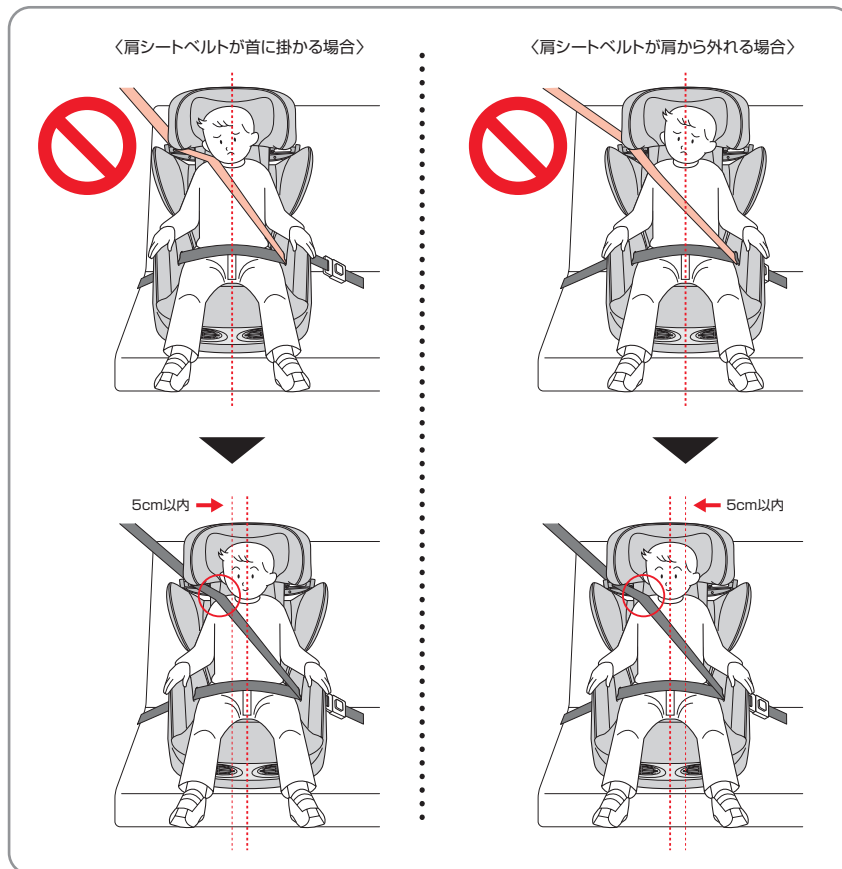
⚠警告

・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。

衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。

3 お子さまを座面に深く座らせます。

⚠**注意**

・頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。

4 ヘッドサポートを内側に倒し、（P14参照）車の肩シートベルトにねじれがないことを確認して、背もたれの肩ベルトガイドに通します。

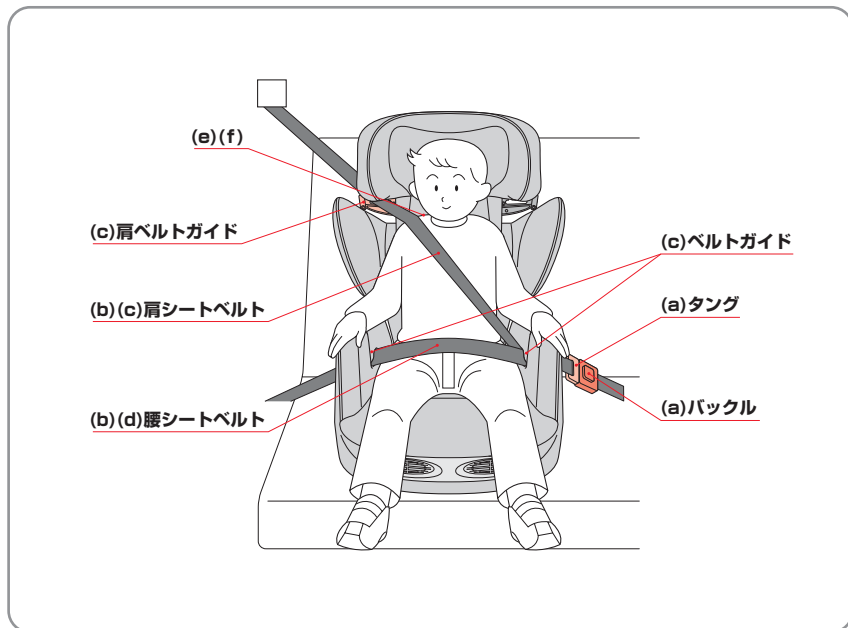
・お子さまの成長に合わせて肩ベルトガイドが正しい位置になるように背もたれの高さを調節してください。

5 車の腰シートベルトにねじれがないことを確認して、座部の左右のベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込みます。

・肩シートベルトはバックル側のベルトガイドに通します。

6 車の腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げます。

取り付け後の調節方法

・肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。チャイルドシートの座面が傾かない範囲で調節してください。
・チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れる時は、この座席では使用できません。

⚠**危険**

・チャイルドシートが取扱説明書通りに取り付けできない座席では使用しない。
・車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくい場合は、緩みのある状態で使用しない。
・肩シートベルトは、必ず肩ベルトガイドを通してから、お子さまの胸の前を通すこと。

取り付け後の確認

・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

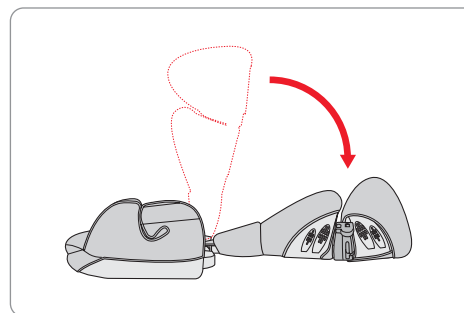
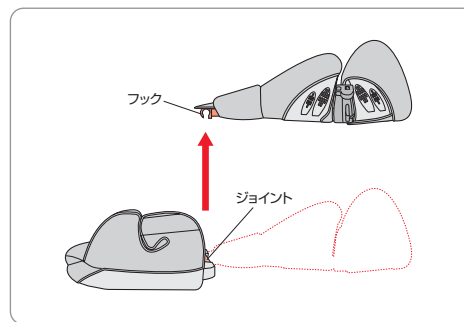
☑ **チェック項目**

(a)車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
(b)車の肩・腰シートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
(c)車の肩シートベルトが肩ベルトガイドを確実に通っていること。
(d)車の腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。
(e)車の肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。
(f)車の肩シートベルトとお子さまの首の間に大人の指１～２本程度のスキ間があること。

- **(a)～(f)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度１～６の手順で取り付けをやり直してください。**
- **１～６**の手順でやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。（P37 参照）

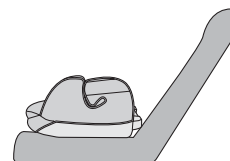
グループⅡ・Ⅲ

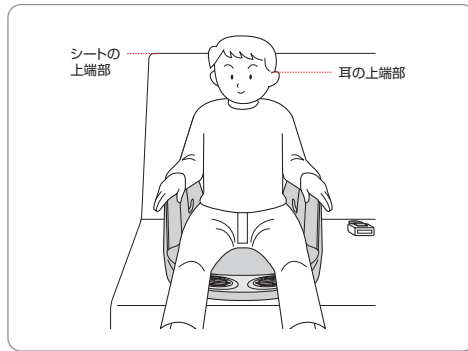
体重： 15kg 以上 36kg 以下（参考身長： 100cm 以上 145cm 以下）

背もたれの取り外し方

1 背もたれを水平になるまで倒します。

2 背もたれを上に持ち上げて取り外します。

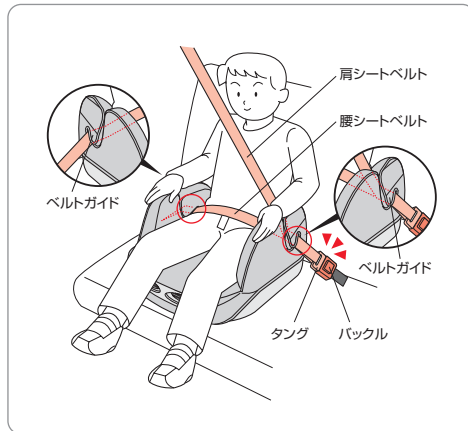
・取り外した背もたれは大切に保管してください。

本体の取り付け方

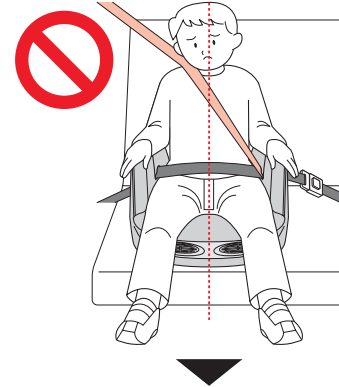
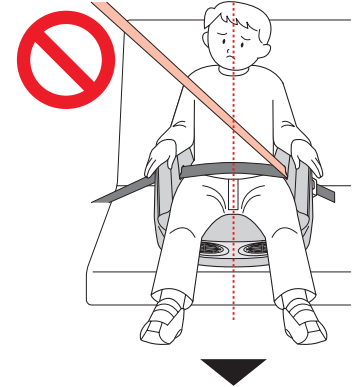
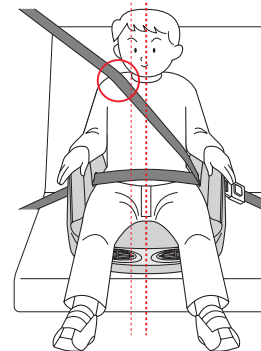
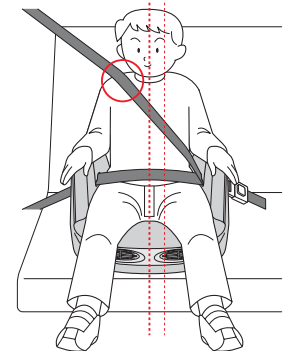
⚠**警告**

・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。

衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。

1 座部と、車の座席の背もたれのスキ間が出来るだけ小さくなるように置き、お子さまを座面に深く座らせます。

⚠**注意**

・頭部重心位置（耳の上端部）が車のシートの上端部、又はヘッドレストの上端部より下になること。

2 車の腰シートベルトにねじれがないことを確認して、座部の左右のベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込みます。

・肩シートベルトはバックル側のベルトガイドに通します。

3 車の腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げます。

取り付け後の調節方法

・肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。チャイルドシートの座面が傾かない範囲で調節してください。
・チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れる時は、この座席では使用できません。

⚠**危険**

・チャイルドシートが取扱説明書通りに取り付けできない座席では使用しない。
・車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくい場合は、緩みのある状態で使用しない。
・肩シートベルトは、必ず肩ベルトガイドを通してから、お子さまの胸の前を通すこと。

取り付け後の確認

・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

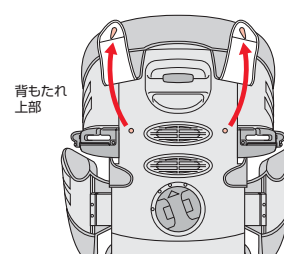
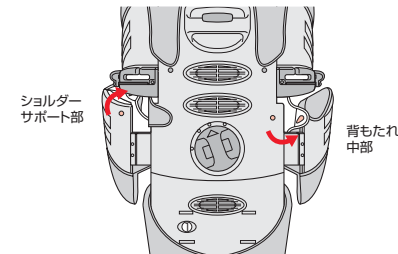
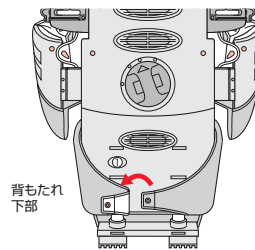
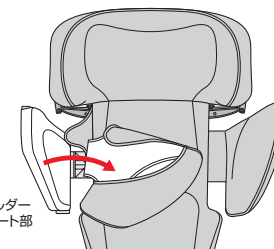
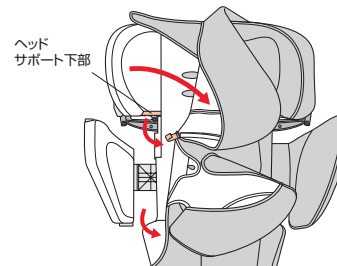
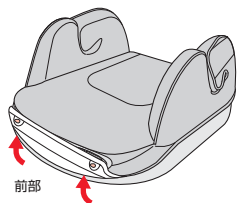
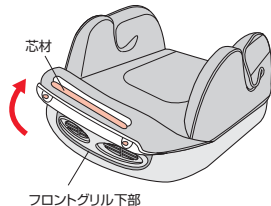
☑ **チェック項目**

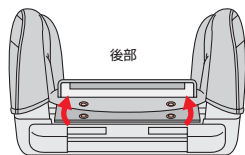
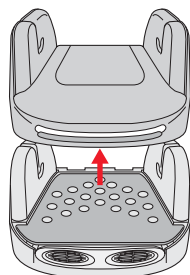
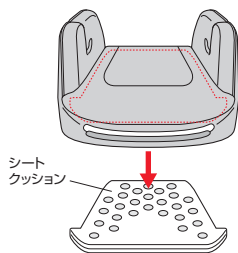
(a)車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
(b)車の肩・腰シートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
(c)車の腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。
(d)車の肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。
(e)車の肩シートベルトとお子さまの首の間に大人の指１～２本程度のスキ間があること。

- **(a)～(e)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度１～３の手順で取り付けをやり直してください。**
- **1～3**の手順でやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。（P37 参照）

お手入れ方法

シートカバーの外し方

・左右のショルダーサポートを開いてから行ってください。（P15 参照）

❶背もたれ上部のクリップ（左右）を外します。

❷背もたれ中部のクリップ（左右）とショルダーサポート部のクリップ（左右）を外します。

❸背もたれ下部のホック（１カ所）を外します。

❹ショルダーサポート部のシートカバーを外します。（左右）

❺ヘッドサポート下部のフック（左右）を外し、シートカバーを取り外します。

❻前部のホック（2カ所）を外します。

❼芯材をフロントグリル下部から外します。

❽後部のホック（2カ所）を外します。

❾シートカバーを取り外します。

❿シートクッションをシートカバーから取り外します。

・シートカバーを取り付ける時は、逆の手順で取り付けてください。

禁止

・シートクッションは洗浄しない。
・シートカバーやクッション材を他のものと交換したり、外した状態や破れた状態で使用しない。

注意

・シートカバーを取り付ける時は、必ず芯材をフロントグリル下部に差し込んでください。

シートカバーの洗濯

・シートカバーは30℃以下のぬるま湯でやさしく手洗いしてください。洗濯機は使用しないでください。
・塩素系漂白剤は使用しないでください。
・洗濯後は、絞らずに干してください。
・ドライクリーニングはしないでください。
・陰干ししてください。
・アイロンがけをしないでください。

樹脂部分のお手入れ

〈ほこりなどを吸着した場合〉
・タオルなどで乾拭きしてください。

〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉
・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。

〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉
・中性洗剤を溶解した40℃前後のお湯にスポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分をスポンジで軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。

注意

・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。

保管する時は

・本体をポリ袋などに入れ、直接日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

廃棄する時は

・事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入してください。
・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

保証について

アフターサービスについて

・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に異常を発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他の異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ、お買い上げの販売店または当社サービス係までご連絡ください。
・製品による二次的な損傷については保証いたしかねます。

当社連絡先

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター　TEL 0120ー415ー814

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221　奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター　☎（0743）84-2050

製品の仕様

商品サイズ	・W：415mm × D：455mm × H：665mm
商品重量	・6.2 kg
材質	・樹脂部：ポリプロピレン
	・シートクッション：ポリウレタン発泡、ポリエチレン発泡
	ポリスチレン発泡
	・表生地：ポリエステル